

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第53号

1964-65-5-26

函館北ロータリークラブ

第48回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム 映画

※ 司 会 新 会 長

※ 齊 唱 "奉仕の理想"

※ ビジター 住田清一君(森R.C. 酒類飲料小売)
末松和彦君他8名(函館R.C.)
太秦康光君他9名(函館東R.C.)

※ 会長報告

1. ガバナー月信に「ワガ・ワガ市より親善使節を迎えての函館北ロータリークラブの国際ロータリー加盟認承伏伝達式」が掲載されております。回覧しますので是非お読み下さい。
2. 東クラブの太秦先生から過日のチャーター・ナイトのお祝としてアルバムをいただきました。有難うございました。
3. 堀会員から新たに「MF」のサンプルをいただきましたので回覧します。
4. 会員がなかなかふえないので、他クラブの方々にも良き会員を御推薦下さるようお願い致します。

※ 幹事報告

1. 新入会員候補者(時田密雄君)を発表致します。
2. お知らせ 中湧別仮R.C.が5月15日に設立。口 倶知安R.C.は6月18日にチャーター・ナイト。ハ 札幌幌南R.C.は6月25日の例会はチャーター・ナイトのため26日に変更。

※ ニコニコ・ボツクス

1. お誕生日おめでとございます。戸栗君(5月29日)
2. 新会長さんが5月24日、緑化運動功労者として道(全道で6名)より表彰を受けました。おめでとございます。(金賞二つ)
3. 東クラブ小寺会員が、記念ゴルフ大会で2位に入賞され、特に当クラブの為に本日の会費のおつりを投入下さいました。有難くお受け致します。

※ 出席報告(前回分)

会員数28名 当日出席20名 他ク出席3名 計23名(82.14%)

✿ エチオピアについて

末 続 吉 間 君

昭和31年エチオピア皇帝来日の折通訳と道案内をしたのが縁で、34年からまる2カ年エチオピア帝国政府経済担当顧問として、アジスラベバに滞在しました。これは日本の第二次世界大戦で諸大国を相手に4年も戦った実績と、敗戦後の驚意的復興ぶりに感心した皇帝の、エチオピア第1次5カ年開発計画に参加してほしいとの要望によるものです。帰国後「エチオピアの経済構造」と題する本を書いてみましたが、本日はその一部についてお話しします。

エチオピアは赤道下の国ではあるが、海拔2,000m以上の高台(全土の $\frac{2}{3}$ を占める)は、ちょうど温帯位の気候で、肥沃で、農業と人畜に適しています。但し馴れない我々は身体の調子が合わず、具合が悪くなると週の後半は低地におりて元気を恢復させたものです。

面白いのは、コプト・キリスト教が憲法上の国教であり、その戒律はカトリック以上に残酷なまでに厳しく、皇位すらも規制する強大な勢力をもち、又土地の25~40%を領有して経済を支配し、学校を設けて、幼少の頃から極端な保守的教育をたたきこむことです。このためエチオピアはいまだに政治、経済、文化の近代化から取り残されています。

エチオピアは立憲君主国で、憲法、議会、内閣と一応近代国家の政治形態をとつていますが、実際は極端な皇帝(ハイレ・セラシエ1世)独裁専制の国です。然し国内の青年教育層の民主主義きよう望がはげしくなつて来つつあり、あくまで皇帝独裁主義と政経一致が維持できるか疑問であります。1960年のクーデターは、皇帝とコプト・キリスト教会および一部特権階級に対する最初の反撃で、大臣クラス17人を殺したが結局失敗に帰しました。さすがの皇帝も深く反省するところがあつたであろうし、これによりエチオピアの民主化が今後ある程度は推し進められると思います。

こうした地理的および政治的背景において、エチオピアの第1次5カ年開発計画が着手され、まず経済下部構造の整備に重点をおいて、道路、港湾、通信電力の開発を行なつた結果、相当進歩し、次に来る第2次5カ年開発計画のための一応の地ならしができたものと思われまふ。現在の日本との関係は、東洋レ・ヨンの資本が入つてゐることと、コーヒー(モカ、ヒラリー)が輸入されてゐることです。

何れにせよエチオピア経済の将来は良くなるだらうと考えます。